

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 交付対象事業の実施状況及び評価

<新基準>当初の事業目的等に対し、
 3：想定を上回る効果が出た
 2：想定どおり達成した
 1：想定を下回る効果しか出なかった

1,816,607 32,376 242,391 1,541,840 1,437,818

(単位：千円)

予算措置	課等名	事務事業名称	対象事業費	国県補助	その他特財	一般財源	(別掲) コロナ交付金 充当額	事業区分	事業概要	実施状況	効果	評価・分析・課題
当初予算 (既決予算)	総務課	職員給与費 (時間外勤務手当)	394			394	367	① 感染症対策	庁舎の飛沫防止対策等に要する物品の準備・設置に要する経費。	職員15名、196時間分。	2	緊急対応が必要な業務に係るものであり、迅速に対応することができた。
当初予算 (既決予算)	総務課	総務課管理費	223			223	208	① 感染症対策	コールセンター開設、新型コロナウイルス対応郵送代、臨時議会に対応する印刷等に要する経費。	電話移設工事費、マスク等郵送料、議案印刷費等。	2	市民からの問い合わせに対する対応及び市のコロナ対策を滞りなく実施することができた。
当初予算 (既決予算)	人事課	職員給与費 (時間外勤務手当)	55			55	51	① 感染症対策	3密解消勤務体制の構築に要する経費。	業務継続計画を見直すとともに、3密解消勤務体制(会議室勤務、スライド勤務、週休日同週振替など)を構築した。	2	3密回避に取り組むことで、感染症対策に関する職員の意識高揚にもつながった。
当初予算 (既決予算)	人事課	職員給与費 (時間外勤務手当)	28			28	26	① 感染症対策	コールセンター体制整備に要する経費。	人事課所属の保健師1名が令和2年4月・5月の平日夜2日間及び休日3日間、新型コロナウイルス感染症のコールセンターに従事した。	2	平日夜や休日にもコールセンターを開設したことで相談しやすい環境が整えられ、新型コロナウイルスに対する市民の疑問や不安の軽減が図られた。
7月補正	市民まちづくり支援課	コミュニティセンター管理運営事業	1,728			1,728	1,610	① 感染症対策	コミュニティセンターでの感染対策として、老朽化し故障がちなエアコンを改修する。	会議室等のエアコンを改修し、換気機能を改善した。	2	施設の換気機能が強化され、利用者の安心・安全の確保につながった。
7月補正	市民まちづくり支援課	コミュニティセンター管理運営事業	9,727			9,727	9,065	① 感染症対策	コミュニティセンターでの感染対策として、老朽化し故障がちなエアコンを改修する。	会議室等のエアコンを改修し、換気機能を改善した。	2	施設の換気機能が強化され、利用者の安心・安全の確保につながった。
10月補正	市民まちづくり支援課	コミュニティセンター管理運営事業	9,790			9,790	9,123	① 感染症対策	五十公野コミュニティセンターの冷温水発生機の更新工事。	エアコン改修に係る関連設備を改修した。	2	施設の換気機能が強化され、利用者の安心・安全の確保につながった。
当初予算 (既決予算)	市民まちづくり支援課	コミュニティセンター管理運営事業	1,247			1,247	1,162	① 感染症対策	コミュニティセンターでの感染対策として、老朽化し故障がちなエアコンを改修する。	エアコン改修に係る関連設備を改修した。	2	施設の換気機能が強化され、利用者の安心・安全の確保につながった。
当初予算 (既決予算)	市民まちづくり支援課	コミュニティセンター管理運営事業	850			850	792	① 感染症対策	全コミュニティセンターにおける閉館措置への協力金。	公共施設閉館に伴う指定管理者への協力金を執行した。	2	閉館したことにより、感染予防につながった。
当初予算 (既決予算)	市民まちづくり支援課	市民まちづくり支援課管理費	31			31	29	① 感染症対策	自治会への書類郵送に係る通信運搬費。	書類提出方法を手渡しから郵送に変更したことによる郵送費で、接触機会を減少させた。	2	接触機会を減少させることで、感染予防につながった。
当初予算 (既決予算)	情報政策課	住民情報システム管理運営事業	157			157	146	① 感染症対策	感染拡大防止のために換気を実施するが、その際に執務室内の湿度上昇を抑えるため、除湿器を購入する経費。	大量の帳票を打ち出す際に印刷物のトラブルを避けるために除湿器を設置した。	2	空調機の使用だけでは、湿度を適正に管理できないため、機器の使用後はトラブルも軽減され効果がでている。
当初予算 (既決予算)	情報政策課	住民情報システム管理運営事業	2,200			2,200	2,050	① 感染症対策	3密を回避することを目的として、戸籍証明書、戸籍の附表の写しのコンビニ交付対応を拡充するための経費。	コロナ禍において、外出や移動の自粛の中で、本籍地交付サービスを導入に証明書を受け取るサービスを拡大した。	2	市民はもとより、市外においてもサービスを拡充ができたことにより、より利便性が増し効果が得られる状況となった。
当初予算 (既決予算)	情報政策課	住民情報システム管理運営事業	188			188	175	① 感染症対策	同時流行に伴う医療機関の業務ひっ迫を緩和するため、インフルエンザワクチンの予防接種助成を全市民に拡大して実施する。 接種した情報をシステム登録する「データエントリー業務委託料」分。	コロナとの同時流行に伴い医療機関業務の軽減を図るため、インフルエンザ接種を拡大し、管理するため接種情報をデータ化した。	2	インフルエンザ接種の拡大により、コロナ対応を同時に行う医療機関及び市担当課の事務軽減が図られたことにより、効果が得られた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 交付対象事業の実施状況及び評価

<新基準>当初の事業目的等に対し、
 3：想定を上回る効果が出た
 2：想定どおり達成した
 1：想定を下回る効果しか出なかった

1,816,607 32,376 242,391 1,541,840 1,437,818

(単位：千円)

予算措置	課等名	事務事業名称	対象事業費	国県補助	その他特財	一般財源	(別掲)コロナ交付金充当額	事業区分	事業概要	実施状況	効果	評価・分析・課題
当初予算 (既決予算)	情報政策課	内部情報システム管理運営事業	20			20	19	① 感染症対策	新型コロナウイルス対策本部コールセンター設置に伴う庁内LAN端末に要する経費。	市民からの問い合わせに対応するためのコールセンターに庁内LAN端末を5台設置した。	2	庁内LAN端末をコールセンターに設置し、グループウェアや共有フォルダを利用できる環境を整備したことで、業務の利便性向上、コールセンター業務の円滑化を図ることができた。
10月補正	情報政策課	内部情報システム管理運営事業	21,709			21,709	20,230	① 感染症対策	テレワークシステム導入経費等。	テレワークを実施するため、システム構築、テレワーク実施用PC50台、モバイル回線10回線を整備した。	2	コロナ禍でも市行政業務を停止することがないように、テレワーク環境を整備することで、3密対策をとりながら、市民サービスの水準を維持する環境を整えた。令和3年6月からテレワークを実施している。テレワーク未実施時には、WEB会議等でPC・回線を利用している。
6月補正	みらい創造課	広報発行业務	777			777	724	① 感染症対策	市民周知チラシの印刷に要する経費。	新型コロナウイルス関連情報(注意喚起・支援制度など)の周知用チラシを計7回複製し、全戸配布を行った。 ・作製枚数:37,000~38,200枚/1回	2	「広報しばた」で対応できなかった緊急性の高い情報について、紙媒体を通じてホームページを閲覧できない市民にも広く周知することができた。
2月補正	みらい創造課	FM広報事業	260			260	242	① 感染症対策	新型コロナウイルス感染者の発生発生状況について緊急FM放送により情報発信する経費。	新型コロナウイルス感染者の発生状況について、放送を通じ情報発信を行った。 ※当該費用については、土・日曜日、祝日の放送に係る経費。 ・放送回数:10回(10/24~3/20)	2	新型コロナウイルス感染者の発生状況について、リアルタイムに情報発信することで、市民への注意喚起と情報提供を行うことができた。
2月追加	みらい創造課	FM広報事業	335			335	312	① 感染症対策	新型コロナウイルス感染予防対策の取組や協力依頼などについて緊急FM放送により情報伝達する経費。	生放送枠で10分間の特別番組を編成し、市民に新型コロナウイルス感染予防対策の取組や協力依頼などの情報伝達を行った。 ・放送期間:3/15~3/31の平日(1日2回×13日間)	2	感染予防のポイントやワクチン接種・PCR検査の情報、人権配慮に対するお願いなど、状況に応じた内容を連日提供でき、市民の理解を深めることができた。
当初予算 (既決予算)	総務課	市庁舎施設維持管理事務	429			429	400	① 感染症対策	庁舎の飛沫防止対策や密接防止対策等に要する物品の購入費。	飛沫防止パーテーション107台、事務用椅子5脚、衛生用品等。	2	庁舎内の感染症防止対策を行うことができた。
当初予算 (既決予算)	総務課	市庁舎施設維持管理事務	2,484			2,484	2,315	① 感染症対策	庁舎の飛沫防止対策や密接防止対策等に要する物品の購入費。	サーモグラフィーカメラ3台、飛沫防止パーテーション22台、アルコール噴霧器5台。	2	来庁者に対し、感染症防止対策や啓発を行うことができた。
7月補正	総務課	市庁舎施設維持管理事務	15,114			15,114	14,084	① 感染症対策	庁舎の飛沫防止対策や密接防止対策等に要する物品の購入に要する経費。	飛沫防止パーテーション147台、アルコール噴霧器102台、非接触型体温計40個、マイクシステム、衛生用品等。	2	庁舎内の感染症防止対策を行うことができた。
10月補正	総務課	市庁舎施設維持管理事務	6,533			6,533	6,088	① 感染症対策	密集・密接防止のための、キッズ広場内の遊具等購入費。	木製遊具3台、エアー遊具2台、クッションシート10枚、かご台車5台。	2	メインとなる遊具を増設したことで、子ども達の利用が分散され、密集・密接を解消することができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 交付対象事業の実施状況及び評価

<新基準>当初の事業目的等に対し、
 3：想定を上回る効果が出た
 2：想定どおり達成した
 1：想定を下回る効果しか出なかった

1,816,607 32,376 242,391 1,541,840 1,437,818

(単位：千円)

予算措置	課等名	事務事業名称	対象事業費	国県補助	その他特財	一般財源	(別掲) コロナ交付金 充当額	事業区分	事業概要	実施状況	効果	評価・分析・課題
当初予算 (既決予算)	新発田駅前 複合施設	新発田駅前複合施設管理運営事業	611			611	569	① 感染症対策	利用者の感染症予防のため、消毒液等の感染症対策用品を施設に設置するための経費。	<ul style="list-style-type: none"> 給食用アルコール17L 11,664円 手指消毒液800mL 19,483円 アクリル板 11枚 72,600円 アクリル板 10枚 92,400円 給食用アルコール17L 17,496円 アクリル板5枚 33,000円 給食用アルコール17L 17,496円 非接触体温計 16,500円 AI検温システムパトライト 33,000円 AI検温システム機器 198,000円 AI検温システムスタンド 99,000円 	2	館内各所に消毒用アルコールを設置し、入館者に対し、こまめな手指消毒を呼びかけることができた。 アクリル板によるパーテーションを設置することで飛沫の拡散を防ぐことができた。 エントランスに設置したAI検温システムについては、利用者から設置の要望が寄せられていたものであり、今般の設置により利用者ニーズに応えることができた。
7月補正	みらい創造課	ふるさとをつなぐ情報ネットワーク活用事業	1,992			1,992	1,856	④ その他	新型コロナウイルスの影響で中止となった成人式に参加を予定していた新成人を対象に、市内の店舗で使える商品券を贈呈する。 (商品券発行事業) (しばたの食材キャンペーン)	<ul style="list-style-type: none"> 新成人の門出をお祝いするとともに、地元経済の活性化と故郷への愛着醸成を図った。 商品券発行数3,000円×664人 	2	コロナ禍で様々な面で規制を強いられ、人生の門出である成人式が中止となってしまった新成人への激励となり、県外在住で帰省出来ない子へ親が故郷の物を買って送るなど、故郷への愛着醸成につながった。 また、地域限定の商品券を活用することで地元の経済活性化につながった。
7月補正	みらい創造課	ふるさとをつなぐ情報ネットワーク活用事業	350			350	327	④ その他	市外在住者に向け新発田の食材をPRするとともに、関係人口の創出を図る。 (商品券発行事業) (しばたの食材キャンペーン)	<ul style="list-style-type: none"> 市の公式LINEアカウントを開設し、LINEを活用した地元の特産品が当たるキャンペーンを実施した。 LINE登録者：880人(R3.3月末現在) (市外在住者72%、市内在住者28%) キャンペーン参加者：124人 地元食材の提供：5品目×38人 	2	新型コロナウイルスの影響で、首都圏の飲食店を対象とした内容では実施出来なかったが、LINEを活用することで広く市外の人にも新発田の特産品をPRすることが出来た。 新発田の食を知ってもらう事により、新発田に興味を持ってもらい関係人口の創出につながった。
7月補正	みらい創造課	人口減少対策事業	2,144			2,144	1,999	④ その他	関係人口、移住者の増加につなげるための施策として、サテライトオフィスと宿泊、観光・レクリエーションを結び付けた取り組みを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 既存の短期滞在施設にWi-Fi設備を整備し、リモートワークをしながら田舎暮らし体験ができる移住体験メニューを提供した。 利用者：1組2名 	2	整備完了後11月から受け入れを開始したが、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み12月から事業を休止したため利用者が1組に留まった。 問合せや予約者が10件以上来ているため、感染拡大状況をみて再開し、利用につなげて行く。
当初予算 (既決予算)	市民まちづくり支援課	自治会等支援事業	96			96	89	① 感染症対策	感染対策を啓発するチラシに要する経費。	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策を啓発するチラシを全世帯に配布した。 	2	啓発チラシを全世帯に配布し、周知することができた。
当初予算 (既決予算)	市民まちづくり支援課	コミュニティバス事業特別会計繰出金 (コミュニティバス運行事業)	400			400	373	① 感染症対策	公共交通におけるマスク、消毒液等に要する経費。	<ul style="list-style-type: none"> 新発田市コミュニティバス(菅谷・加治)のバス乗務員が使用するマスク、車内消毒用アルコール等を購入し、感染対策を実施した。 	2	利用者と乗務員の安心・安全を確保することで、公共交通として安全な運行を継続することができた。
6月補正(追加)	市民まちづくり支援課	コミュニティバス事業特別会計繰出金 (コミュニティバス運行事業)	580			580	541	① 感染症対策	コミュニティバス運転席への感染防止シートの設置。	<ul style="list-style-type: none"> 新発田市コミュニティバスの全車両において飛沫防止シートを設置した。 	2	利用者と乗務員の安心・安全を確保することで、公共交通として安全な運行を継続することができた。
7月補正	市民まちづくり支援課	コミュニティバス事業特別会計繰出金 (公共交通事業者感染対策事業)	1,400			1,400	1,305	① 感染症対策	公共交通事業者の感染対策に係る取組を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 当市の公共交通を担うバス事業者とタクシー事業者に対して、感染対策支援を行った。消毒液、乗務員用マスク、車内感染対策等に活用された。 	2	利用者と乗務員の安心・安全を確保することで、公共交通として安全な運行を継続することができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 交付対象事業の実施状況及び評価

<新基準>当初の事業目的等に対し、
 3：想定を上回る効果が出た
 2：想定どおり達成した
 1：想定を下回る効果しか出なかった

1,816,607 32,376 242,391 1,541,840 1,437,818

(単位：千円)

予算措置	課等名	事務事業名称	対象事業費	国県補助	その他特財	一般財源	(別掲) コロナ交付金 充当額	事業区分	事業概要	実施状況	効果	評価・分析・課題
当初予算 (既決予算)	地域安全課	交通安全対策事業	1			1	1	① 感染症対策	交通安全教室で接する市民への感染症予防のため、消毒用アルコールを携帯できるスプレーボトルを購入する。	手指消毒用アルコールを携帯できるスプレーボトルを3個購入した。	2	消毒用アルコールが設置されていない場所で使用できるため、感染症予防に効果があった。
当初予算 (既決予算)	地域安全課	駅周辺駐輪場等管理事業	3			3	2	① 感染症対策	自転車管理事務所窓口で接する市民への感染症予防のため、消毒用アルコールとアクリル製飛沫防止板を購入する。	アクリル製飛沫防止板1枚とアルコール消毒液を購入した。	2	飛沫防止と手指消毒により、窓口での感染症予防に効果があった。
当初予算 (既決予算)	人権啓発課	人権啓発推進事業	1			1	0	① 感染症対策	人権啓発講座参加者の感染症予防のため、講師が着用するマウスシールドに係る経費。	飛沫防止のためのマウスシールドを購入した。	2	人権啓発の講座参加者による感染症の拡大を防ぐことについて、効果があったものと思われる。
当初予算 (既決予算)	豊浦支所	豊浦支所維持管理事業	18			18	17	① 感染症対策	来庁者の感染症予防のため、手指消毒用の消毒液を庁舎内に設置する経費。	・手指消毒用アルコール1本 4,620円 ・ALクレミール5L×2本 13,200円	2	アルコール消毒液を庁舎内に設置し、庁舎内での感染拡大防止対策を徹底することができた。
当初予算 (既決予算)	紫雲寺支所	職員給与費(時間外勤務手当)	6			6	6	① 感染症対策	新型コロナウイルス感染症コールセンターに係る経費。	コールセンター業務従事。	2	新型コロナウイルス感染症に対する市民等への最新の情報提供と不安解消を図ることができた。
当初予算 (既決予算)	紫雲寺支所	紫雲寺支所維持管理事業	7			7	6	① 感染症対策	来庁者の感染症予防のため、手指消毒用の消毒液を庁舎内に設置する経費。	・消毒用アルコール 6,600円 ALクレミール5L×1個	2	アルコール消毒液、清掃用消毒スプレーを庁舎内に設置し、庁舎内での感染拡大防止対策を徹底することができた。
当初予算 (既決予算)	加治川支所	加治川支所維持管理事業	25			25	23	① 感染症対策	来庁者の感染症予防のため、手指消毒用の消毒液を庁舎内に設置する経費。	・消毒液 5リットル×3本 ・ハンドジェル 5本	2	アルコール消毒液を庁舎内に設置し、庁舎内での感染拡大防止対策を徹底することができた。
当初予算 (既決予算)	税務課	市民税賦課事業	1,476			1,476	1,376	④ その他	申告者の感染症予防のため、確定申告・市県民税申告受付期間の1月延長に対応するための経費。	臨時職員4名、パート職員4名の報酬等。	2	延長分の申告書の処理を臨時・パート職員が行うことで、市民税賦課業務をスムーズに進めることができた。
10月補正	市民生活課	住基・印鑑登録管理事業	1,432			1,432	1,335	④ その他	窓口混雑による3密を回避するため、窓口端末等の増設に要する経費。	・統合端末2台 ・住民情報システム用端末1台 ・住民情報システム用プリンター1台	2	窓口端末の増設により、窓口での滞在時間が減少し、混雑緩和につながった。
当初予算 (既決予算)	高齢福祉課	健康長寿アクティブ交流センター管理運営事業	58			58	54	① 感染症対策	施設利用者への感染症拡大を予防するため、アルコール消毒液等を施設に設置するための経費。	手指消毒液を設置するとともに、貸館の利用後に室内の除菌を行った。 【購入品】 ・手指用アルコール消毒液 490 ・施設用アルコール剤 6本	2	感染症対策を講じることで、利用者の安心安全の確保に努めることができた。
7月補正	社会福祉課	民生委員児童委員連合会支援事業	820			820	765	④ その他	高齢者現況調査での感染症拡大防止のため、電話による聞き取りに変更する経費。	高齢者現況調査の面談を電話で行うことによる民生委員負担の電話代に係る経費相当を支給した。 【支給実績】 @140円×5,861世帯=820,540円	2	電話代相当分を支給することで、費用面での負担軽減が図られ、一定の効果があった。
7月補正	社会福祉課	障害福祉推進事業	637			637	595	① 感染症対策	市内障がい者の感染症予防のため、マスクを郵送で配布するための経費。	身体障害者手帳等の交付を受けている方を対象に、1人につき3枚のマスクを4月下旬から郵送で配布した。 ・配布対象者 5,237人 ・配布枚数 5,237人×3枚=15,711枚	2	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い全国的にマスクが不足する状況下でのマスクの配布は、障がい者の感染予防に大きな効果があった。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 交付対象事業の実施状況及び評価

<新基準>当初の事業目的等に対し、
 3：想定を上回る効果が出た
 2：想定どおり達成した
 1：想定を下回る効果しか出なかった

1,816,607 32,376 242,391 1,541,840 1,437,818

(単位：千円)

予算措置	課等名	事務事業名称	対象事業費	国県補助	その他特財	一般財源	(別掲) コロナ交付金 充当額	事業区分	事業概要	実施状況	効果	評価・分析・課題
当初予算 (既決予算)	社会福祉課	障害者地域生活支援事業	81	60		21	20	① 感染症対策	地域活動支援センターにおける新型コロナウイルス感染症予防のため、消毒液等感染症対策用品の購入に係る経費。	地域活動支援センター(3か所)が新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として消毒液等を購入した経費に対し、補助した。 【購入品】 ・非接触体温計購入 5,000円 ・消毒液等購入 15,000円 ・ハンドソープ、ウェットタオル等購入 36,000円 ・ビニール手袋等購入 23,000円 ・飛沫防止シート等購入 2,000円	2	地域活動支援センターは自主財源が乏しく、消毒液等購入に係る新型コロナウイルス感染症対策経費を補助することで、障がいのある人が日中に安心して通えるための環境整備につながった。
当初予算 (既決予算)	高齢福祉課	地域ふれあいルーム事業	25			25	23	① 感染症対策	サービス利用者への感染症拡大を予防するため、アルコール消毒液等を会場に設置するための経費。	非接触体温計と消毒液の導入により、事業を再開・継続した。 【購入品】 ・施設用アルコール剤 4本 ・非接触体温計 2台 ・フェイスシールド 20個	2	感染症対策を講じることで、利用者の安心安全の確保に努めることができた。
7月補正	高齢福祉課	高齢福祉総務費	54			54	50	① 感染症対策	市内介護事業所での新型コロナウイルス感染症発生時に備えるための感染症予防対策物品の備蓄に要する経費。	フェイスシールド100個及び防護服100枚を備蓄しておき、市内介護事業所で新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生した際に速やかに配付した。	2	備蓄をしておくことで、介護事業所からのリクエストに応じて素早く配付ができたことから、介護事業所が講じる感染症防止対策の強化につながった。
当初予算 (既決予算)	保険年金課	後期高齢者医療特別会計繰出金(保険料徴収事業)	56			56	52	① 感染症対策	口座振替勧奨(新型コロナウイルス感染症対策)。 人との接触機会を減らすことで感染症予防とするため、後期高齢医療保険加入者で、普通徴収かつ口座振替手続きを行っていない者に対し、口座振替の勧奨を行うための経費。	令和2年10月時点で、納付方法が普通徴収で口座振替の登録がない被保険者を対象として、口座振替の勧奨チラシと口座振替依頼書を11月下旬に送付した。 また、窓口で保険料の質問等を受けた際にも勧奨を行った。 ・勧奨用チラシ 600部 36,300円 ・送料 245通発送 19,377円	1	送付した被保険者245人のうち、口座振替登録を行った人は22人だった。 納付書で納めている人の中には、翌年度には特別徴収に移行する人や以前より納付書払いで納めていることから改めて口座振替を希望しない人などがいたため、コロナ禍においても想定したよりも口座振替の登録は行われなかった。 口座振替の登録については、75歳の加入時に行う勧奨の効果が高く、今後も加入時(保険証発送時と保険料通知時の2回)における勧奨に重点を置いて取り組んでいく。
当初予算 (既決予算)	人権啓発課	隣保館管理運営事業	20			20	19	① 感染症対策	隣保館使用者の感染症予防のため、手指消毒用の消毒液等を隣保館に設置する経費。	消毒や飛沫防止のための消耗品を購入した。 (不織布マスク、除菌スプレー、フェイスシールド、消毒液、紙タオル)	2	隣保館使用者による感染症の拡大を防ぐことについて、効果があったものと思われる。
6月補正(追加)	社会福祉課	生活困窮世帯特別支援事業	14,688			14,688	13,687	② 経済対策	感染症拡大により収入が減少し生活に困窮する世帯の生活費の負担軽減のため、商品券を支給するための経費。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で収入が減少した生活困窮世帯を対象に、7万円分の「今・得プレミアム商品券」を支給した。 ・申請:205件 ・決定:200件 14,000千円	2	商品券を支給することで、生活費の負担軽減が図られ、一定の効果があった。
7月補正	こども課	保育園運営事業	222			222	207	① 感染症対策	遠足の際のバス車内の密集対策として、保護者会等へのバス増便に係る経費の補助。	公立保育園5園の親子バス遠足について、バスの借上台数を増やすなどにより生じる費用への経費の補助を行った。	2	遠足の際のバス車内の密集状況を緩和することに寄与したことから、感染拡大防止に一定の効果があったと考える。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 交付対象事業の実施状況及び評価

<新基準>当初の事業目的等に対し、
 3：想定を上回る効果が出た
 2：想定どおり達成した
 1：想定を下回る効果しか出なかった

1,816,607 32,376 242,391 1,541,840 1,437,818

(単位：千円)

予算措置	課等名	事務事業名称	対象事業費	国県補助	その他特財	一般財源	(別掲) コロナ交付金 充当額	事業区分	事業概要	実施状況	効果	評価・分析・課題
当初予算 (既決予算)	こども課	保育園運営事業	41			41	38	① 感染症対策	保護者との連絡手段の確保対策として、保護者連絡配信システム構築に要する費用。	公立保育園13園に園から保護者へのメール連絡サービスを導入した。 ・設定費873千円 ・システム利用料99千円	2	保護者への連絡手段として、電子媒体により行う体制を整備したことで、従来の紙媒体のやり取りの際に生じていた、職員・保護者間の接触の機会を減少させたことから、一定の効果があったと考える。
7月補正	こども課	保育園維持管理事業	1,501			1,501	1,399	① 感染症対策	園児の感染症予防のため、公立保育園の水道水栓のレバー化に要する経費。	13園分、342か所の水栓ハンドルを、旧来のバルブ式から、レバー式に改修完了した。	2	非接触式の水栓に交換することが最善であったが、費用が極めて高額のため、また児童の生活経験の幅を狭めないためレバー式への交換を行った。従来のバルブ式よりも接触時間は短く、接触面積も小さく、清掃・消毒作業も容易となったことから、一定の効果があったと考える。
6月補正	こども課	保育園維持管理事業	658			658	613	① 感染症対策	換気対策として実施する網戸の新設および修繕に要する経費。	8園、80か所の網戸の新設および修繕、調整を完了した。	2	窓の開放による換気を頻繁に行えるようになり、感染症対策として一定の効果があったと考える。
2月追加	こども課	延長保育事業	2,481	1,654		827	771	① 感染症対策	延長保育事業を実施する私立園への新型コロナウイルス感染症予防経費に対して助成する経費。	延長保育事業を実施する私立園のうち、18園に対して新型コロナウイルス感染症予防経費の補助を行った。	2	マスク、消毒液、空気清浄機、サーモカメラの購入等、感染拡大防止のための環境整備が促進されたことから、一定の効果があったと考える。
2月追加	こども課	子どもデイサービス(一時預かり)事業	2,248	1,498		750	698	① 感染症対策	一時預かり事業を実施する私立園への新型コロナウイルス感染症予防経費に対して助成する経費。	一時預かり事業を実施する私立園のうち、11園に対して新型コロナウイルス感染症予防経費の補助を行った。	2	マスク、消毒液、空気清浄機、サーモカメラの購入等、感染拡大防止のための環境整備が促進されたことから、一定の効果があったと考える。
7月補正	こども課	私立保育園支援事業	271			271	253	① 感染症対策	遠足の際のバス車内の密集対策として、保護者会等へのバス増便に係る経費の補助。	私立保育園・認定こども園6園の親子バス遠足について、バスの借上台数を増やすなどにより生じる費用への経費の補助を行った。	2	遠足の際のバス車内の密集状況を緩和することに寄与したことから、感染拡大防止に一定の効果があったと考える。
2月専決	こども課	子育て世帯臨時特別給付金事業	25,128			25,128	23,417	② 経済対策	令和3年4月入学予定の新小・中・高1年生1人につき、1万円を支給(新入学おめでとうプラン)するための経費。	受給者(養育者)2,179名へ支給した。 ・1万円×2,359人(対象児)=23,590千円	2	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯に対し一時金を支給することで、入学前準備に要する経済的負担を軽減した。
5月臨時	社会福祉課	ひとり親家庭生活支援事業	35,799			35,799	33,359	② 経済対策	感染症拡大により収入が減少し生活に困窮するひとり親家庭の生活費の負担軽減のため、現金と商品券を支給するための経費。	希望するすべてのひとり親家庭の児童1人につき2万円と今・得プレミアム商品券7千円分を支給した。 ・対象者 882人 ・対象児童数 1,317人	2	ひとり親家庭からもありがたいとの感謝の声をいただくなど、ひとり親家庭の生活費の負担軽減を図るという当初の事業目的を達成することができた。
7月補正	青少年健全育成センター	青少年健全育成センター・児童センター管理運営事業	437			437	407	① 感染症対策	児童クラブ及び児童館利用者の感染症予防のため、蛇口をレバー化及び自動水洗化するための経費。	レバー水栓及び自動水栓が設置可能であった18施設について、36個のレバー水栓、5個の自動水栓を設置した。	2	レバー水栓及び自動水栓にすることで蛇口の接触時間が短くなり、感染症予防に効果があった。
6月補正	青少年健全育成センター	青少年健全育成センター・児童センター管理運営事業	84	56		28	26	④ その他	感染症拡大による小学校の休校に伴い、児童クラブを臨時開設するための経費。	学校の休校に伴い、佐々木・住吉・五十公野の3児童クラブが臨時開設した指定管理者が管理している3施設に光熱水費等負担金を支払った。	2	3施設の光熱水費を負担することによって、3児童クラブを開設することができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 交付対象事業の実施状況及び評価

<新基準>当初の事業目的等に対し、
 3：想定を上回る効果が出た
 2：想定どおり達成した
 1：想定を下回る効果しか出なかった

1,816,607 32,376 242,391 1,541,840 1,437,818

(単位：千円)

予算措置	課等名	事務事業名称	対象事業費	国県補助	その他特財	一般財源	(別掲)コロナ交付金充当額	事業区分	事業概要	実施状況	効果	評価・分析・課題
6月補正	青少年健全育成センター	児童クラブ運営事業	4,338	2,890		1,448	1,350	④ その他	感染症拡大による小学校の休校に伴い、児童クラブを臨時開設するための経費。	学校の休校に伴い、臨時開設した19児童クラブに対して、指導員の割り当てを行い、児童クラブを運営した。	2	19児童クラブが新型コロナ感染症に対応するにあたり、適正な人数の指導員を手配することができ、安心して19児童クラブを開設することができた。
4月臨時②	財務課 水道局業務課	水道対策推進事業	124,517			124,517	116,031	① 感染症対策	新発田市水道事業が実施する一般家庭の水道料金を1か月分減免することに伴う減収分、阿賀野市給水区域の新発田市民の一般家庭の水道料金1か月相当分の助成金支給及び事務費分を補助する経費。	市が新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から市民の皆様には不要不急の外出自粛協力をお願いすることで、在宅時間の増加から水道使用頻度が増え、家計負担が多くなることが見込まれたため減免を実施した。 【新発田市水道局給水区域の市民】 ・延べ減免件数：33,651件 ・減免額総額：117,729,828円 ・システム運用支援費：496,100円 【阿賀野市上下水道局給水区域の市民】 ・延べ助成件数：1,295件 ・基本料金相当助成額総額：5,624,057円 ・事務費用：667,259円	2	一般家庭用の使用水量は、緊急事態宣言発令前と発令後の比較では、5.3%増加している。また、減免した期間の前年同月期比較では、3.6%増加しており、うがい・手洗いなどの感染症対策の啓発と全使用者への経済活動支援を行うことができたことと分析している。
7月補正	財務課 水道局業務課	水道対策推進事業	160,299			160,299	149,375	① 感染症対策	新発田市水道事業が実施する水道基本料金4か月分の減収分、阿賀野市給水区域の新発田市民の水道基本料金4か月相当分の助成金及び事務費分を補助する経費。	新型コロナウイルス感染症対策を日常生活に取り入れた「新たな生活様式」が定着するまでの間、感染拡大の第2波に備えた感染症対策と外出自粛や休業要請の解除による市民活動、経済活動の活性化対策として、市民活動・企業活動に欠かせないライフラインである水道の基本料金の減免を実施した。 【新発田市水道局給水区域の市民】 ・延べ減免件数：72,816件 ・減免額総額：151,756,911円 ・料金システム改修費：440,000円 【阿賀野市上下水道局給水区域の市民】 ・延べ助成件数：1,573件 ・基本料金相当助成額総額：7,384,135円 ・事務費用：717,909円	2	全用途の使用水量を合計し、前年同月期との使用水量を比較すると0.8%増えており、うがい・手洗いなどの感染症対策の啓発と全使用者への経済活動支援を行うことができたことと分析している。
7月補正	財務課 水道局業務課	水道対策推進事業	71			71	66	① 感染症対策	来庁者の感染症予防のため、非接触型体温計、手指消毒用の消毒液等を庁舎内に設置する経費。	非接触体温計：1本 手指消毒用アルコールボトル：2本 アルコール消毒液：21ℓ アルコール除菌ウェットティッシュ：8組 不織布マスク(30枚入)：30箱 ディスポ手袋：1箱	2	アルコール消毒液、清掃用消毒スプレーを庁内に設置し、庁内での感染拡大防止対策を徹底することができた。 市民のライフラインである水道事業の業務を継続していくためにも、引き続き感染症対策に必要な用品を配置し、感染拡大防止に努める必要がある。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 交付対象事業の実施状況及び評価

<新基準>当初の事業目的等に対し、
 3：想定を上回る効果が出た
 2：想定どおり達成した
 1：想定を下回る効果しか出なかった

1,816,607 32,376 242,391 1,541,840 1,437,818

(単位：千円)

予算措置	課等名	事務事業名称	対象事業費	国県補助	その他特財	一般財源	(別掲)コロナ交付金充当額	事業区分	事業概要	実施状況	効果	評価・分析・課題
当初予算 (既決予算)	紫雲寺支所	健康プラザしうんじ管理運営事業	49			49	46	① 感染症対策	利用者の感染症予防のため、健康増進スタジオ機器の消毒やバーテーションの設置、手指消毒用の消毒液等を設置する経費。	<ul style="list-style-type: none"> 消毒用アルコール 24,096円 ALクレミール5L×1本 食品用アルコール17L×3缶 アルコールふき取り用消耗品 19,186円 キッチンタオル×80パック 消毒用カット綿500g×2箱 容器×1個 アルコール汲上用ポンプ×1本 スプレーボトル500ml×5本 2,200円 シールド用材料費 1,064円 塩ビパイプ・継ぎ手 体温計 2,178円 	2	アルコール消毒液、清掃用消毒スプレーを庁舎内に設置し、庁舎内での感染拡大防止対策を徹底することができた。
当初予算 (既決予算)	紫雲寺支所	健康プラザしうんじ管理運営事業	35			35	33	① 感染症対策	利用者の感染症予防のため、健康増進スタジオ機器の消毒や手指消毒用の消毒液等を設置する経費。	<ul style="list-style-type: none"> 消毒用アルコール 11,664円 食品用アルコール17L×2缶 消毒用アルコール 19,800円 ALクレミール5L×3個 アルコールふき取り用消耗品 3,960円 キッチンタオル×20パック 	2	アルコール消毒液、清掃用消毒スプレーを庁舎内に設置し、庁舎内での感染拡大防止対策を徹底することができた。
2月追加 (繰越)	健康推進課	職員給与費 (時間外勤務手当)	804			804	749	① 感染症対策	新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的に、無症状者を対象としたPCR検査を実施するための正規職員の時間外勤務手当。	小・中・幼・保の職員(私立を含む)や児童クラブ等職員、民生員計2,421名に抗原検査、PCR検査を行ったほか、基礎疾患を有する高齢者11名に、検査費用を助成した。	2	希望する対象者に検査を提供することで、感染拡大の防止に寄与するとともに、日常生活に安心感をもたらした。
7月補正	健康推進課	保健センター管理運営事業	819			819	763	① 感染症対策	施設の換気対策及び感染症拡大防止のため、新発田市、豊浦地区の両保健センターへの網戸設置及びトイレ給水栓レバーハンドル交換に要する経費。	新発田市、豊浦地区の両保健センターを対象に、網戸設置及びトイレ給水栓レバーハンドル交換を行った。 ※給水栓レバーハンドル交換工事は、計7ヶ所を実施。	2	様々な感染症対策の一つとして実施しており、結果として施設利用者に感染者はいないため、一定の効果があつたと考える。
当初予算 (既決予算)	健康推進課	特定健康診査等事業	82			82	76	① 感染症対策	受検者の3密回避のため、新たに特定健診会場を追加する経費。	コロナ禍による市民の不安を解消するため、3密を回避できる会場で検診を追加実施した(計3日間の追加)。	2	比較的大きな会場で三日間健診を開催することで、受診者の集中を防ぎ、3密を回避できた。
当初予算 (既決予算)	健康推進課	成人保健活動事業	106			106	99	① 感染症対策	特定健診、健康保健指導等の受診者及び健(検)診従事者への感染症拡大防止のため、感染予防対策に要する経費。	感染拡大防止のために市民向けリーフレット、事業従事者用フェイスシールドなどを購入した。 【購入品】 ・フェイスシールド 20枚 ・メンハン500g 3箱 ・ドライタオル 400枚 ほか	2	事業参加者、従事者共に安心して事業に参加・運営できた。健診会場等でのクラスター発生を防ぐことができた。
当初予算 (既決予算)	健康推進課	がん検診事業	270			270	252	① 感染症対策	各種がん検診の受診者及び検診従事者への感染症拡大防止のため、感染予防対策に要する経費。	消毒の徹底、検温など感染予防対策を実施した。 【購入品】 ・手指用アルコール消毒液 100ℓ ・フェイスシールド 100枚 ・プラスチック手袋 100枚 ・体温計 5台 ほか	2	検診会場でのクラスター発生を防止することができた。引き続き感染対策を行いながら検診を実施したい。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 交付対象事業の実施状況及び評価

<新基準>当初の事業目的等に対し、
 3：想定を上回る効果が出た
 2：想定どおり達成した
 1：想定を下回る効果しか出なかった

1,816,607 32,376 242,391 1,541,840 1,437,818

(単位:千円)

予算措置	課等名	事務事業名称	対象事業費	国県補助	その他特財	一般財源	(別掲) コロナ交付金 充当額	事業区分	事業概要	実施状況	効果	評価・分析・課題
当初予算 (既決予算)	健康推進課	母子健康診査事業	272			272	253	① 感染症対策	母子健診の受診者及び健診従事者への感染症拡大防止のため、感染予防対策に要する経費。	健診会場において手指消毒薬の設置及び従事者ともに安心して事業に参加・従事することができた。また、健診会場でクラスター発生を防ぐことができた。 【購入品】 ・手指用アルコール消毒液 100ℓ ・フェイスシールド 225枚 ・メディカルシート 144枚 ほか	2	感染対策を充分に行い、健診受診者及び従事者ともに安心して事業に参加・従事することができた。また、健診会場でクラスター発生を防ぐことができた。
7月補正	健康推進課	母子健康診査事業	1,677	800		877	817	① 感染症対策	母子健診の受診者及び健診従事者への感染症拡大防止のため、医療機関へ個別委託を行う。	令和2年4月～9月の間、市内医療機関に委託し、乳児健診を実施した。 ・個別委託実施者 延べ270名	2	集団健診による「密」を避け、医療機関に委託して実施することにより、母子が安心して乳児健診を受診することができた。健診会場でクラスター発生を防ぐことができた。
7月補正	健康推進課	歯科健診・予防事業	1,786			1,786	1,664	① 感染症対策	乳幼児歯科健診の受診者及び健診従事者への感染症拡大防止のため、医療機関へ個別委託を行う。	集団健診に対する市民の不安が非常に大きかったため、一時的に個別医療機関に健診を委託した。 ・個別委託実施者 延べ712名	2	歯科医師会との協力で集団健診を10月から再開し、コロナ禍の影響を最小限にした。
当初予算 (既決予算)	健康推進課	市民のきずなを深めいのちを守る事業(自殺対策事業)	66			66	62	④ その他	新型コロナウイルス感染症予防のため、9月の自殺対策強化月間の街頭啓発活動を取りやめ、ポスター掲示に切り替えることによる印刷製本費。	相談しやすい機運作りのため、啓発用ポスター100枚を作成し自殺対策会議委員と共に商店街に設置し自殺予防を市民に発信した。	2	会議の委員と共に取組むことで、委員等の活動意欲が高まった。また、市内フリーペーパー等にもポスターの内容を掲載し、不特定多数に情報発信すると共に関連する相談会事業のPRにもつながった。
10月補正	健康推進課	市民のきずなを深めいのちを守る事業(自殺対策事業)	1,702			1,702	1,586	④ その他	新型コロナ禍による「自死」を未然に防ぐための相談体制の強化に要する経費。	医師、臨床心理士による相談会を11月から3月までに月1～2回程度、計7回開催し延べ7名の相談を受けた。企業とも連携した啓発用ポスター(3,000枚)の作成と広報活動及びゲートキーパーに配布するバッジ等を作成した。	2	相談内容は、コロナ禍による心身の不調など意図したものであり、身近な相談先を定着すべく、令和3年度の定期事業となった。前年度の実績値から効果検証は難しいが、令和3年度は予約が埋まる状況となっている。市内各所でポスターの掲示を確認できる。職員はしめ約1,400名がゲートキーパーとしてバッジを配布されている。ポスターも市内学校、金融機関、病院等幅広い場所で掲示されている。
2月追加 (繰越)	健康推進課	新型コロナウイルス感染症予防事業	12,319			12,319	11,479	① 感染症対策	新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的に、無症状者を対象としたPCR検査事業の実施に要する経費。 <対象>小・中・幼・保の職員(私立を含む)や児童クラブ等職員、民生員、基礎疾患を持つ高齢者など。	小・中・幼・保の職員(私立を含む)や児童クラブ等職員、民生員計2,421名に抗原検査、PCR検査を行った。	2	希望する対象者に検査を提供することで、感染拡大の防止に寄与するとともに、日常生活に安心感をもたらした。
10月補正	健康推進課	新型コロナウイルス感染症予防事業	291	109		182	171	① 感染症対策	感染時の重症化リスクの高い高齢者及び基礎疾患を有する方に対し、PCR検査及び抗原定量検査に要する費用を補助する。	基礎疾患を有する高齢者11名に、検査費用を助成した。	2	希望する対象者に検査を提供することで、感染拡大の防止に寄与するとともに、日常生活に安心感をもたらした。
当初予算 (既決予算)	健康推進課	保健衛生総務費	284			284	265	① 感染症対策	医療機関へのマスク配布に要する経費。	全国的にマスクの入手が困難であった時期に、市内の医療機関に医療用のマスク約5,300枚を提供した。	2	医療機関でのクラスター発生を防ぐことができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 交付対象事業の実施状況及び評価

<新基準>当初の事業目的等に対し、
 3：想定を上回る効果が出た
 2：想定どおり達成した
 1：想定を下回る効果しか出なかった

1,816,607 32,376 242,391 1,541,840 1,437,818

(単位：千円)

予算措置	課等名	事務事業名称	対象事業費	国県補助	その他特財	一般財源	(別掲) コロナ交付金 充当額	事業区分	事業概要	実施状況	効果	評価・分析・課題
当初予算 (既決予算)	健康推進課	保健衛生総務費	12			12	11	① 感染症対策	新型コロナウイルス感染症対策のため、職員が使用するアルコール消毒液を購入する経費。	庁舎内の感染対策のため、消毒用アルコールを購入した。	2	職員の感染対策を徹底できた。引き続き対策を継続していく。
当初予算 (既決予算)	健康推進課	保健衛生総務費	776			776	723	① 感染症対策	障害者へのマスク配布に要する経費。	全国的にマスクの入手が困難であった時期に、障がい者を対象にマスク約14,700枚を提供した。	2	障がい者施設でのクラスター発生を防ぐことができた。
7月補正	健康推進課	保健衛生総務費	1,178			1,178	1,098	① 感染症対策	今後の新型コロナウイルス感染症の流行に備え、備蓄用のマスク50,000枚、高濃度消毒液300ℓを購入するための経費。	マスク50,000枚、消毒液300ℓを購入し、備蓄している。	2	感染拡大時の備えとして予定通り備蓄している。
9月追加	健康推進課	予防接種事業	100,575			100,575	94,861	① 感染症対策	新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に伴う医療機関の業務ひっ迫を緩和するため、インフルエンザワクチンの予防接種助成を全市民に拡大して実施する。	インフルエンザワクチンの予防接種の助成を全市民に行うことで、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を防止した。 ・65歳以上助成実績 20,865人 ・64歳以下助成実績 29,370人	2	厚生労働省の統計データでも患者の発生がほとんどなく、インフルエンザの流行は見られなかった。 市内でも学級閉鎖がゼロになるなど、一定の効果があったと考える。
当初予算 (既決予算)	環境衛生課	環境衛生総務費	295			295	275	① 感染症対策	市有施設利用者及び職員が感染した場合または濃厚接触者となった際に当該施設の消毒を行う。	庁内で初めて職員が濃厚接触者となった際に、その施設の消毒を業者に委託した。	2	職員及び来庁者の感染予防と安心につながった。
6月補正(追加)	農林水産課	緊急経済対策事業	21,445			21,445	19,984	② 経済対策	収入が減少している肉牛生産者、花き生産者の支援のため、消費拡大や事業継続につながる施策を展開する。	(ア)公共施設花き活用:JAに対し1/4補助(10千円×3~4回/施設×30施設)×1/4≒250千円 (イ)消耗品費1,000千円 (ウ)花き農家持続化支援事業 新型コロナウイルスにより、特に大きな影響を受けた花き農家に対して、1農業者あたり5万円を交付した。 ・申請件数 26件 1,300千円 (エ)新発田産和牛消費拡大事業 新型コロナウイルスの影響が顕著な新発田産和牛について実行委員会を設立し、消費拡大支援やPR事業を実施した。 ・旅館・飲食店等への仕入れ助成 参加:11旅館、56店舗 総仕入れ額 52,144,505円 総仕入れ量 約7,227kg ・支出額(助成額・PR経費等) 15,411千円 (オ)和牛子牛導入支援:生産コスト面を支援することで、生産基盤の強化を図る:500千円/農家×7農家=3,484千円	2	(ア)(イ)公共施設や観光施設等において、花きの活用拡大を通じた日常生活での利用定着と需要喚起、所得確保につながることができた。 (ウ)売り上げが低迷した花き農家へ交付金を交付したことで、経営継続の一助となり、優良な新発田産花きの安定生産につながった。 (エ)新発田市緊急経済対策実行委員会の「今得キャンペーン」との相乗効果により、消費の拡大につなげることができた。また、出荷頭数などの要件クリアに取組むことにより、「にいがた和牛 新発田牛」として地域ブランドの承認につなげることができた。今後は認知度の向上やブランド価値の向上に取組む必要がある。 (オ)新型コロナの影響が著しい黒毛和種(和牛)肥育農家の経営安定を図ることで、付加価値の高い優良な新発田産和牛の生産に資することができた。
当初予算 (既決予算)	商工振興課	職員給与費(時間外勤務手当)	3,018			3,018	2,812	② 経済対策	相談窓口及び、緊急経済対策事業実施に係る職員の時間外勤務手当に要する経費。	事業者支援相談窓口を開設し、5月1日~1月31日(5月は土日祝日含む)まで、相談事業を実施したほか、各種の緊急経済対策事業を行った。	2	相談窓口及び緊急経済対策事業を迅速かつ効果的に実施することができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 交付対象事業の実施状況及び評価

<新基準>当初の事業目的等に対し、
 3：想定を上回る効果が出た
 2：想定どおり達成した
 1：想定を下回る効果しか出なかった

1,816,607 32,376 242,391 1,541,840 1,437,818

(単位：千円)

予算措置	課等名	事務事業名称	対象事業費	国県補助	その他特財	一般財源	(別掲) コロナ交付金 充当額	事業区分	事業概要	実施状況	効果	評価・分析・課題
当初予算 (既決予算)	観光振興課	職員給与費 (時間外勤務手当)	890			890	829	② 経済対策	緊急経済対策の企画立案および実施事業に付随する事務等により発生する職員の時間外勤務手当に要する経費。	課全体の時間外勤務1,791時間のうち、コロナ関係業務で時間外勤務が480時間発生した。	2	コロナ禍に伴うイベント中止により、市主催の集客催事に係る時間外勤務が減った一方で、効果やリスクが非常に読みづらい中での経済対策事業立案には多大な時間を要した。コロナの動向は不透明であり、先数年は事業者支援が必要である可能性もあることから、既存事業との両立のために準備を行っていく必要がある。
4月臨時②	商工振興課	商工振興制度融資・支援事業	9,143			9,143	8,520	② 経済対策	急激に売上が減少した事業者の資金繰りを支援するため、新潟県新型コロナウイルス感染症対応資金(県コロナ資金)に係る新潟県信用保証協会への保証料補給を行うための経費。	県コロナ資金の利用者に対し、保証料補給を行った。 ・件数:97件	3	制度利用者の経営維持の支援につながった。その後、国の無利子・無担保融資が開始されたことにより、市内企業の倒産件数は例年より低下(前年比▲27.3%)した。
4月臨時②	商工振興課	中小企業・小規模企業等支援事業	2,238			2,238	2,086	② 経済対策	商工会議所及び各商工会が実施する相談会開催に係る経費、雇用調整助成金申請に係る社会保険労務士手数料の補助。	商工会議所等で雇用調整助成金申請に関する社会保険労務士相談会を実施した。 ・実施回数:20回 ・相談件数:60件 雇用調整助成金の申請に必要な社会保険労務士手数料の一部を補助した。 ・対象者:従業員10人未満の事業者 ・補助額:上限10万円 ・補助件数:25件	2	相談会実施により、事業者に対し雇用調整助成金の制度や申請方法を周知することができた。 また、社会保険労務士手数料を補助することにより、雇用調整助成金の申請が困難な事業者を支援した。
4月臨時②	商工振興課	緊急経済対策事業	1			1	0	② 経済対策	経営状況の厳しい事業者を支援するためのつなぎ融資に対する利子補給。	国の「持続化給付金」の交付決定者が、国からの支給を待たずに、交付額の1/2の額を無利子で融資を受けられるよう、利子補給を行った。 ・利用件数:3件	1	国の「持続化給付金」の支給事務が想定よりスムーズに進んだため、利用する事業者は少なかったが、資金調達を急ぐ事業者を支援した。
4月臨時②	商工振興課	緊急経済対策事業	19,876			19,876	18,521	② 経済対策	県の休業要請及び休業延長要請に応じ、営業自粛した事業者の家賃に対する補助及び休業延長協力金。	【休業要請(上限5万円)】 ・支給決定数:258件 【休業延長要請(5万円)】 ・支給決定数:152件	2	県の休業要請を受け大きな影響を受けた飲食店やスポーツ施設などの業種への支援につながった。 また、国の家賃支援給付金の実施前に、バー・スナックなどの飲食店などに対する家賃支援を行い、休業による収入減に対する支援を実施した。
4月臨時	商工振興課	緊急経済対策事業	186,064		5,000	181,064	168,724	② 経済対策	飲食店、旅館・ホテル、バス事業者が行う復興キャンペーン経費や社交飲食組合への補助。	感染症拡大の影響を最も受ける業種において、消費喚起のための「今・得キャンペーン」を実施した。 【飲食店(割烹、居酒屋等)】 ・利用件数:約9,000件 【宿泊施設】 ・利用人数:約15,000人 【県内主要駅等と当市を結ぶバス(予約制無料送迎バス)の運行】 ・利用人数:約1,500人	3	飲食業、宿泊業は、関連する業種が多くすそ野の広い業種であることから、キャンペーン実施により、食品卸売業や酒店、タクシーなどへの波及効果をもたらし、サプライチェーン回復に寄与した。 その一方、キャンペーンは一時的な支援策であるため、アフターコロナを見据え、持続可能な経営を目的とした事業者支援を実施していく必要がある。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 交付対象事業の実施状況及び評価

<新基準>当初の事業目的等に対し、
 3：想定を上回る効果が出た
 2：想定どおり達成した
 1：想定を下回る効果しか出なかった

1,816,607 32,376 242,391 1,541,840 1,437,818

(単位：千円)

予算措置	課等名	事務事業名称	対象事業費	国県補助	その他特財	一般財源	(別掲) コロナ交付金 充当額	事業区分	事業概要	実施状況	効果	評価・分析・課題
5月臨時	商工振興課	緊急経済対策事業	314,763		230,005	84,758	78,982	② 経済対策	市内経済を活性化し、自粛生活を続けていく市民の生活支援のため、今・得プレミアム商品券発行に要する経費。	市内経済の活性化及び生活支援を図るため、今・得プレミアム商品券及び飲食券を発行した。 【商品券】 7,000円分の商品券を5,000円で全世帯向けに販売した。 ・販売数：16,001冊 【飲食券】 6,500円分の飲食券を5,000円で販売した。 ・販売数：30,000冊(完売)	2	プレミアム商品券・飲食券の発行により、市民への生活支援とともに、消費喚起による事業者支援につなげることができた。 「今・得キャンペーン」など、他の消費喚起策と連動させながら、地域内における消費喚起策を今後も実施する必要がある。
10月補正	商工振興課	緊急経済対策事業	8,834			8,834	8,232	② 経済対策	飲食店における感染防止対策のため、設備導入の支援に要する経費。	市内飲食店における感染防止対策を推進するため、設備費用の補助を行った。 ・補助件数：77件	2	飲食事業者の感染症防止対策実施の動機付けと設備の導入促進に寄与するとともに、設備を設置する事業者の受注確保にも効果があった。 今後も、徹底した感染症対策が必要であることから、飲食店や市民に対する啓発を含め支援を継続する必要がある。
7月補正	商工振興課	緊急経済対策事業	9,751			9,751	9,086	② 経済対策	市内食品製造業者及び物産販売事業者を支援するため、物産詰め合わせ商品の販売に対する支援に要する経費。	新発田の特産品の詰め合わせのセット商品を開発し、市民・観光客への販売を行うことで、食品製造事業者の支援を行った。 【販売実績】 ・観光客向け：6,205セット ・市民向け：323セット	3	事業者の経済的支援をはじめ、月岡温泉から市街地に多くの観光客を誘導することができた。製造事業者や販売店・畜産業・JA・市の連携体制が確立され、今後の特産品の販路拡大の土台を作ることができた。
7月補正	商工振興課	緊急経済対策事業	7,541			7,541	7,027	② 経済対策	持続化給付金や休業要請協力金の対象とならない、売上げが減少した従業員5人以下の事業者への定額支援。	国の持続化給付金など支援の対象とならないものの、売上が減少した事業者に対し、5万円を支援した。 ・支援件数：149件	2	国や県の支援の手が届かない事業者への支援策として実施し、建築業や理容・美容業、農家など幅広い業種の事業者に対し支援することができた。
当初予算(既決予算)	観光振興課	あやめの湯管理運営事業	64			64	60	① 感染症対策	施設利用者の感染症予防のため、入口付近に設置するアルコール消毒液等の購入に要する経費。	令和2年度施設利用者数:36,684人 【購入物品】 ・非接触型赤外線体温計：2台 ・消毒液等：49.1L	2	常連客を含め、多くの利用者がいる中、消毒を徹底したことで、感染者が発生することなく、施設を運営することができた。
当初予算(既決予算)	観光振興課	カリオンパーク管理運営事業	2			2	1	① 感染症対策	施設利用者の感染症予防のため、入口付近に設置するアルコール消毒液等の購入に要する経費。	【購入物品】 ・消毒液：1L	2	県外からの利用者も多くいる中で、消毒を徹底したことで、感染者が発生することなく、施設を運営することができた。
当初予算(既決予算)	観光振興課	刀剣伝承館・天田昭次記念館・カリオンホール管理運営事業	13			13	12	① 感染症対策	施設利用者の感染症予防のため、入口付近に設置するアルコール消毒液等の購入に要する経費。	令和2年度施設利用者数:1,970人 【購入物品】 ・非接触型赤外線体温計：1台 ・消毒液：2.37L	2	県外からの利用者も多くいる中で、消毒を徹底したことで、感染者が発生することなく、施設を運営することができた。
当初予算(既決予算)	観光振興課	市島邸管理運営事業	22			22	21	① 感染症対策	施設利用者の感染症予防のため、入口付近に設置するアルコール消毒液等の購入に要する経費。	令和2年度施設利用者数:5,331人 【購入物品】 ・非接触型赤外線体温計：2台 ・消毒液：1.1L	2	県外からの利用者も多くいる中で、消毒を徹底したことで、感染者が発生することなく、施設を運営することができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 交付対象事業の実施状況及び評価

<新基準>当初の事業目的等に対し、
 3：想定を上回る効果が出た
 2：想定どおり達成した
 1：想定を下回る効果しか出なかった

1,816,607 32,376 242,391 1,541,840 1,437,818

(単位：千円)

予算措置	課等名	事務事業名称	対象事業費	国県補助	その他特財	一般財源	(別掲) コロナ交付金 充当額	事業区分	事業概要	実施状況	効果	評価・分析・課題
6月補正(追加)	観光振興課	緊急経済対策事業	211,795			211,795	197,361	② 経済対策	新型コロナ感染症で疲弊した経済を活性化し、市内での消費喚起につなげるため、復興キャンペーンを実施する。 宿泊事業者、バス事業者等と協働し観光誘客キャンペーンを実施した。 (ア) 宿泊事業者支援 補助金額(合計)151,569,434円 利用人数(合計)58,517人 (イ) 交通事業者支援 補助金額(合計)8,185,571円 利用人数(合計)1,649人 (ウ) 修学旅行支援 支援金額 1,469,400円 支援件数 3件 (エ) 芸妓支援 支援金額 1,974,000円 支援件数 のべ340人(分) (オ) 広告費・その他雑費等 48,596,170円 商品券・土産品券換金 37,313,500円 印刷製本費 1,943,700円 広告宣伝費 8,720,810円 特設サイト開設・更新 4件 新聞・誌面・折込広告 9件 ウェブ広告 1件 テレビCM 1件 振込手数料 24件 19,360円 謝礼等その他雑費 598,800円	3	困窮する事業者に対しては迅速かつ切れ目のない支援が必要であり、感染状況等情勢を注視しながら、効果的な施策の検討を行った。 県内のべ宿泊者数は平均して前年比63.8%、当市の月岡温泉の入込数は前年比77.2%となり、県平均を大きく上回る結果となった。 【月岡温泉の宿泊者数】 令和元年度入込数：342,794人 令和2年度入込数：264,697人 バス支援に絡めて、市街地回遊や近隣市町村からの誘客など実証実験的な試みもでき、多角的な成果を得ることができた。	
5月臨時	観光振興課	緊急経済対策事業	2,672			2,672	2,490	② 経済対策	月岡温泉の各旅館が負担する温泉排水の処理に係る下水道使用料相当を助成することで、利用客の減少による経営上の負担軽減を図る。	・補助金額(合計)2,672,111円 ・補助件数 16施設	2	温泉管理上、利用客が不在でも発生する経費であり、その費用を支援することで事業継続の一助となった。
当初予算(既決予算)	観光振興課	観光総務費	3			3	2	① 感染症対策	事務室での感染症予防のため、デスクパーティションを作成し、設置する。	アクリル板を1枚購入した。	2	出張後等において重点的に活用し、職場内での感染リスクの低減に役立った。
当初予算(既決予算)	財産管理課	職員給与費(時間外勤務手当)	3			3	2	① 感染症対策	国内において新型コロナウイルス感染者が発生した際に、市内在住者からの電話による問い合わせ対応に係る時間外勤務手当。	新型コロナウイルス感染症コールセンターでの従事。	2	新型コロナウイルスの感染が疑われる場合の対応方法を紹介する等、適切に対応した。
当初予算(既決予算)	維持管理課	除雪費	164			164	153	① 感染症対策	除雪の際の感染症対策のため、全除雪業者への手指消毒液を配備するための経費。	市内127社(GPS搭載車等300台)に手指消毒液を配布した。	2	除雪期間中、委託業者内において新型コロナウイルス感染により除雪業務が行えない等の事例は発生しなかった。
6月補正(追加)	建築課	新型コロナウイルス感染拡大防止対策推進事業	19,369			19,369	18,049	① 感染症対策	換気設備やパーティション等の設備導入にかかった費用を補助することで、接客を伴う店舗や事業所等などの不特定多数の人が集まる場所や、住宅における三密対策を支援する。	受付件数 395件、交付件数 193件。 【交付内訳】 ・個人申請 166件 ・個人事業者 19件 ・法人事業者 8件	2	申請の8割以上が個人住宅等における申請であり、大変有難いとの声を多数いただいた。また、県で実施した同事業の上乗せ補助であるため、事業者にとっては両制度を利用して頂くことができ、高い評価を受けた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 交付対象事業の実施状況及び評価

<新基準>当初の事業目的等に対し、
 3：想定を上回る効果が出た
 2：想定どおり達成した
 1：想定を下回る効果しか出なかった

1,816,607 32,376 242,391 1,541,840 1,437,818

(単位：千円)

予算措置	課等名	事務事業名称	対象事業費	国県補助	その他特財	一般財源	(別掲) コロナ交付金 充当額	事業区分	事業概要	実施状況	効果	評価・分析・課題
当初予算 (既決予算)	維持管理課	職員給与費 (時間外勤務手当)	136			136	127	① 感染症対策	緊急事態宣言中における公園封鎖・巡回に要する経費。	大型連休中を含め、期間中2人1組の班体制により大型の都市公園を巡回し、状況に応じて注意喚起を行った。	2	公園利用による感染拡大を事前に防ぐことができた。
当初予算 (既決予算)	維持管理課	公園維持管理事業	3			3	3	① 感染症対策	コロナ対策注意喚起に使用するラミネートフィルム購入費。	注意喚起看板を作成し、都市公園各所に設置した。	2	公園利用者に対して感染症の注意喚起を促すことができた。
7月補正	維持管理課	公園整備事業	4,559			4,559	4,248	① 感染症対策	公園(11公園53箇所)のトイレ洗面台を自動水洗化するための経費。公園(11公園44箇所)の水飲み場及び滝谷森林公園のトイレ洗面台(10箇所)をレバー水栓化するための経費。	トイレ洗面台の自動水栓化改修を11公園53箇所実施し、水飲み場のレバー水栓化改修を10公園44箇所、滝谷森林公園のトイレ洗面台10箇所のレバー水栓化改修を行った。	2	公園利用者の利便性が向上し、感染症対策に貢献できた。
6月補正(追加)	地域安全課	防災対策推進事業	8,547			8,547	7,965	① 感染症対策	避難所での感染防止対策として必要な備蓄物資等を購入する。	災害時に、避難者が安心して避難所へ避難ができるよう感染症対策として段ボールパーテーション、アルコール消毒液、非接触型体温計などを購入した。	2	災害時に避難者が安心して避難所生活を送れる環境整備を行ったため、効果があった。
9月追加	地域安全課	防災対策推進事業	634			634	597	① 感染症対策	救護が必要な方が利用できる避難所を確保するため、災害用救護セットを配備する。	災害時に指定避難所へ避難してきた方で体調不良者がいた際に、保健師による救護が可能となるよう救護バックを購入した。	2	災害時に避難者が安心して避難所生活を送れる環境整備を行ったため、効果があった。
当初予算 (既決予算)	維持管理課	災害対策事業	69			69	65	① 感染症対策	コロナ対策注意喚起用の看板購入費。	注意喚起看板を作成し、都市公園各所に設置した。	2	公園利用者に対して感染症の注意喚起を促すことができた。
6月補正(追加)	学校教育課	スクールサポート事業	167			167	155	① 感染症対策	夏休み期間短縮に伴い必要となる人的なサポートに係る経費。	中学校に配置する市スクールサポートスタッフ3名が8月勤務分に要した報酬。	2	学校開校日と同様の人的体制を整え、教職員の負担軽減につながった。
7月補正	学校教育課	スクールサポート事業	1,513	756		757	706	① 感染症対策	こどもの学びを保障するため、学習指導員を配置する。	学級担任をサポートするため、市内小中学校に配置した学習指導員が9月～3月勤務分に要した報酬。	2	習熟度のばらつきが出やすい教科や内容の定着が不十分な児童生徒に対して、個別にきめ細かな指導ができた。
6月補正(追加)	学校教育課	不登校児童生徒適応指導教室運営事業(さわやかルーム)	160			160	149	④ その他	夏休み期間短縮に伴い必要となる人的なサポートに係る経費。	不登校児童生徒や個別の児童生徒を支援するサポートチーム指導員3名が8月勤務分に要した報酬。	2	学校開校日と同様の学習環境を整え、児童生徒が学習する場所を提供できた。
7月補正	生涯学習課	家計急変学生支援事業	4,670			4,670	4,351	② 経済対策	新型コロナウイルスの影響による収入の減少により、学業の継続が困難な市外に在住する学生に対する、学業継続支援のための奨学金給付に要する経費。	しばたTomorrow奨学金50,000円を93人に給付した。	2	国・県などの奨学金制度のほかに、新発田市独自の制度を創設し、コロナ禍で困窮する本市出身の学生に奨学金を給付することで、一層の支援につなげることができた。
6月補正	教育総務課	小学校管理運営事業	5,320	819		4,501	4,194	① 感染症対策	学校再開に当たり集団感染のリスクを避けるための布マスクの配布に要する経費。	学校再開に当たり集団感染のリスクを避けるための布マスク購入。 ・5,269名(教職員他含)×2枚+予備210枚	2	マスク不足の状況下、布マスクを配布することにより感染予防対策を実施し、児童及び教職員等が安心して学校生活を送ることのできる体制整備を図った。
7月補正	教育総務課	小学校管理運営事業	22,626	11,312		11,314	10,544	① 感染症対策	学校再開に向けた感染症対策経費(アルコールジェル購入、学校再開支援(3密対策、学びの保障等)経費)。	消毒液等の保健衛生用品や非接触型体温計や教室における3密対策として、空気清浄機等の備品整備を実施した。 (大規模校3、中規模校3、小規模校13)	2	児童の学びの保障のため、感染症対策等を徹底しながら、状況に応じた学校での教育活動支援を図った。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 交付対象事業の実施状況及び評価

<新基準>当初の事業目的等に対し、
 3：想定を上回る効果が出た
 2：想定どおり達成した
 1：想定を下回る効果しか出なかった

1,816,607 32,376 242,391 1,541,840 1,437,818

(単位：千円)

予算措置	課等名	事務事業名称	対象事業費	国県補助	その他特財	一般財源	(別掲)コロナ交付金充当額	事業区分	事業概要	実施状況	効果	評価・分析・課題
当初予算 (既決予算)	学校教育課	小学校健康診断事業	55			55	51	① 感染症対策	感染予防のため、健康診断で使用する手指用消毒液、マスクの購入に要する経費。	健康診断で使用する手指用消毒液50L及び就学時健康診断予備用マスクの購入。	2	感染予防を行い、健康診断を実施することができた。
6月補正(追加)	学校教育課	小学校健康診断事業	588			588	548	① 感染症対策	感染予防のための消耗品、非接触型体温計等を購入する経費及び密を避けるための事務補助者の増員。	非接触型体温計42個を購入したほか、健康診断における使い捨て手袋389箱等を購入。就学時健康診断における事務補助者2名を増員配置した。	2	体温計は学校の日々の健康管理に使用することができた。使い捨て手袋等により感染予防を行い、健康診断を実施することができた。
6月補正(追加)	学校教育課	小学校教育運営事業	771			771	718	④ その他	夏休み期間短縮に伴い必要となる人的なサポートに係る経費。	小学校に配置する介助員78名の8月勤務分に要した報酬。	2	通常の開校日と変わらない学校環境を整えることができ、児童が安心して学習できた。
6月補正	教育総務課	小学校コンピュータ教育推進事業	92,460			92,460	85,907	③ 教育関連(タブレット導入)	国のGIGAスクール構想の前倒しに対応し、小学校全児童へ1人1台の端末を整備するための経費。	19校の小学校に4,797台のタブレット端末を整備した。 (外ヶ輪333、猿橋646、御免町497、二葉288、東429、川東191、菅谷61、七葉172、佐々木126、住吉581、東豊521、中浦116、天王74、荒橋33、本田98、紫雲寺154、米子79、藤塚119、加治川1279)	2	児童1人に1台ずつタブレット端末を整備したことにより、子どもたちの授業への学習意欲を引き出すことや積極的な授業参加を促進し、かつ、長期の休業となった場合にも家庭においてオンライン学習が可能な環境を整えることができた。
7月補正	教育総務課	小学校コンピュータ教育推進事業	270	134		136	127	③ 教育関連(タブレット導入)	学びの保障、GIGAスクール構想実現に向けた経費。 (遠隔学習用カメラ購入)	授業配信のための遠隔学習用カメラ・マイクを各校に1セット購入した。	2	児童1人に1台ずつタブレット端末を整備したことにより、子どもたちの授業への学習意欲を引き出すことや積極的な授業参加を促進し、かつ、長期の休業となった場合にも家庭においてオンライン学習が可能な環境を整えることができた。
当初予算 (既決予算)	学校教育課	小学校教育扶助事業	3,511			3,511	3,272	④ その他	学校休校により支給しなかった給食費扶助について、生活支援の観点から特別に支給する。	休校期間中(4月20日～5月24日)に、給食が実施されたとみなし、給食費を支給した。	2	給食がないと家庭での昼食代がかかるため、給食費を支給することで保護者の経済的負担を軽減することができた。
6月補正(追加)	学校教育課	小学校補助教員派遣事業	104			104	97	④ その他	夏休み期間短縮に伴い必要となる人的なサポートに係る経費。	児童の補充学習を指導等する小学校補助教員8名の8月勤務分に要した報酬。	2	通常の授業時と変わらない環境を整えることができ、児童が安心して学習できた。
6月補正(追加)	教育総務課	小学校施設整備事業	16,500			16,500	15,424	① 感染症対策	児童及び教職員等の感染予防のための学校施設衛生環境改善にかかる経費。 【工事内訳】 ・網戸設置	17校の小学校に、合計1,044枚の網戸を設置した。 (外ヶ輪148枚、猿橋139枚、御免町93枚、二葉46枚、川東15枚、菅谷63枚、七葉38枚、佐々木59枚、住吉54枚、東豊137枚、天王20枚、荒橋50枚、本田31枚、紫雲寺43枚、米子29枚、藤塚16枚、加治川63枚)	2	網戸の設置により、空気の循環を良くし、感染予防に努めた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 交付対象事業の実施状況及び評価

<新基準>当初の事業目的等に対し、
 3：想定を上回る効果が出た
 2：想定どおり達成した
 1：想定を下回る効果しか出なかった

1,816,607 32,376 242,391 1,541,840 1,437,818

(単位：千円)

予算措置	課等名	事務事業名称	対象事業費	国県補助	その他特財	一般財源	(別掲) コロナ交付金 充当額	事業区分	事業概要	実施状況	効果	評価・分析・課題
7月補正	教育総務課	小学校施設整備事業	42,709			42,709	39,925	① 感染症対策	児童及び教職員等の感染予防のための施設衛生環境改善工事に要する経費。	レバーハンドルへの取替を18校の小学校の、合計1,436カ所に対して行った。 (外ヶ輪148、猿橋98、御免町124、二葉72、東76、川東86、菅谷56、七葉52、佐々木58、住吉148、東豊97、天王43、荒橋24、本田64、紫雲寺96、米子57、藤塚52、加治川85) トイレの洋式化を6校の小学校の、合計80カ所に対して行った。 (外ヶ輪18カ所、猿橋13カ所、御免町21カ所、佐々木10カ所、東豊12カ所、紫雲寺6カ所)	2	感染予防対策として、レバーハンドルへの取替により蛇口への接触を減らし、また、トイレの洋式化により流した水の飛散防止を図った。
10月補正	教育総務課	小学校施設整備事業	32,164			32,164	30,067	① 感染症対策	児童及び教職員等の感染予防のため、市内15小学校の各特別教室に1台ずつエアコンを設置する。	小学校15校の特別教室にエアコンを設置するための設計及び工事を実施した。 設置箇所：外ヶ輪：多目的ルーム1台、猿橋：音楽室1台、御免町：音楽室1台、二葉：音楽室1台、東：音楽室1台、川東：音楽室1台、七葉：音楽室1台、佐々木：音楽室1台、住吉：音楽室2台、東豊：音楽室2台、中浦：図書室兼視聴覚室1台、紫雲寺：図書室2台、米子：ランチルーム2台、藤塚：音楽室1台、加治川：少人数教室1台(合計15部屋に19台設置)	2	特別教室にエアコンを設置し、分散して授業を実施できるようにして感染予防対策を実施した。
当初予算 (既決予算)	教育総務課	小学校施設整備事業	5,346		2,100	3,246	3,034	① 感染症対策	児童及び教職員等の感染予防のためのトイレ洋式化及びエアコン取替。	トイレの洋式化は3校の小学校(外ヶ輪3カ所、御免町1カ所、東豊1カ所、)に、合計5カ所を洋式トイレに入替えた。 エアコンの取替は4校の小学校(外ヶ輪1カ所、猿橋1カ所、東1カ所、藤塚1カ所)の合計4カ所、4台の入替を行った。	2	感染予防対策として、トイレの洋式化により流した水の飛散を防止し、エアコンを設置することにより換気による温度変化の軽減を図った。
6月補正	教育総務課	中学校管理運営事業	2,580	401		2,179	2,031	① 感染症対策	学校再開に当たり集団感染のリスクを避けるための布マスクの配布に要する経費。	学校再開に当たり集団感染のリスクを避けるための布マスク購入。 ・2,606名(教職員他含)×2枚	2	マスク不足の状況下、布マスクを配布することにより感染予防対策を実施し、生徒及び教職員等が安心して学校生活を送ることのできる体制整備を図った。
7月補正	教育総務課	中学校管理運営事業	11,902	5,951		5,951	5,545	① 感染症対策	学校再開に向けた感染症対策経費。(アルコールジェル購入、学校再開支援(3密対策、学びの保障等)経費)	消毒液等の保健衛生用品や非接触型体温計や教室における3密対策として、空気清浄機等の備品整備を実施した。 (大規模校1、中規模校2、小規模校7)	2	生徒の学びの保障のため、感染症対策等を徹底しながら、状況に応じた学校での教育活動支援を図った。
当初予算 (既決予算)	学校教育課	中学校健康診断事業	21			21	20	① 感染症対策	感染予防のため、健康診断で使用する手指用消毒液の購入に要する経費。	健康診断で使用する手指用消毒液20Lの購入。	2	感染予防を行い、健康診断を実施することができた。
6月補正(追加)	学校教育課	中学校健康診断事業	238			238	222	① 感染症対策	感染拡大防止のため、非接触型体温計、手袋等の購入に要する経費。	非接触型体温計21個を購入したほか、健康診断における使い捨て手袋183箱等を購入した。	2	体温計は学校の日々の健康管理に使用することができた。使い捨て手袋等により感染予防を行い、健康診断を実施することができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 交付対象事業の実施状況及び評価

<新基準>当初の事業目的等に対し、
 3：想定を上回る効果が出た
 2：想定どおり達成した
 1：想定を下回る効果しか出なかった

1,816,607 32,376 242,391 1,541,840 1,437,818

(単位：千円)

予算措置	課等名	事務事業名称	対象事業費	国県補助	その他特財	一般財源	(別掲)コロナ交付金充当額	事業区分	事業概要	実施状況	効果	評価・分析・課題
6月補正(追加)	学校教育課	中学校教育運営事業	788			788	735	④ その他	夏休み期間短縮に伴い必要となる人的なサポートに係る経費。	中学校に配置する介助員23名の8月勤務分に要した報酬。	2	通常の開校日と変わらない学校環境を整えることができ、生徒が安心して学習できた。
10月補正	学校教育課	中学校教育運営事業	4,078			4,078	3,800	④ その他	中学校の修学旅行キャンセル料等を補助するための経費。	一斉の臨時休業要請により、延期・中止した中学校修学旅行キャンセル料金等の経費補助。	2	コロナ禍によるキャンセル料等の経費について、保護者の経済的な負担軽減を図ることができた。
予備費	学校教育課	中学校教育運営事業	3,791			3,791	3,533	④ その他	中学校10校現2年生修学旅行キャンセル料(当初企画料相当分)。	感染防止により行き先等を変更せざるを得ない状況となった中学校修学旅行キャンセル料金等の経費補助(当初企画料)。	2	コロナ禍によるキャンセル料等の経費について、保護者の経済的な負担軽減を図ることができた。
6月補正	教育総務課	中学校コンピュータ教育推進事業	46,775			46,775	43,456	③ 教育関連(タブレット導入)	国のGIGAスクール構想の前倒しに対応し、中学校全生徒へ1人1台の端末を整備するための経費。	10校の中学校に2,356台のタブレット端末を整備した。 (本丸503、第一374、猿橋548、東203、川東85、七葉133、佐々木61、豊浦139、紫雲寺186、加治川124)	2	生徒1人に1台ずつタブレット端末を整備したことにより、子どもたちの授業への学習意欲を引き出すことや積極的な授業参加を促進し、かつ、長期の休業となった場合にも家庭においてオンライン学習が可能な環境を整えることができた。
7月補正	教育総務課	中学校コンピュータ教育推進事業	142	71		71	66	③ 教育関連(タブレット導入)	学びの保障、GIGAスクール構想実現に向けた経費。 (遠隔学習用カメラ購入)	授業配信のための遠隔学習用カメラ・マイクを各校に1セット購入した。	2	生徒1人に1台ずつタブレット端末を整備したことにより、子どもたちの授業への学習意欲を引き出すことや積極的な授業参加を促進し、かつ、長期の休業となった場合にも家庭においてオンライン学習が可能な環境を整えることができた。
当初予算(既決予算)	学校教育課	中学校教育扶助事業	2,297			2,297	2,140	④ その他	学校休校により支給しなかった給食費扶助について、生活支援の観点から特別に支給する。	休校期間中(4月20日～5月24日)に、給食が実施されたとみなし、給食費を支給した。	2	給食がないと家庭での昼食代がかかるため、給食費を支給することで保護者の経済的負担を軽減することができた。
6月補正(追加)	学校教育課	中学校補助教員派遣事業	238			238	222	④ その他	夏休み期間短縮に伴い必要となる人的なサポートに係る経費。	中学校に配置する補助教員5名の8月勤務分に要した報酬。	2	通常の授業時と変わらない環境を整えることができ、生徒が安心して学習できた。
6月補正(追加)	学校教育課	中学校英語指導助手活用事業	277			277	259	④ その他	夏休み期間短縮に伴い必要となる人的なサポートに係る経費。	英語教育の充実を図るため、中学校に派遣するALT4名の8月勤務分に要した報酬。	2	通常の授業時と変わらない環境を整えることができ、生徒が安心して学習できた。
6月補正(追加)	教育総務課	中学校施設整備事業	13,392			13,392	12,480	① 感染症対策	生徒及び教職員等の感染予防のための学校施設衛生環境改善にかかる経費。 【工事内訳】 ・網戸設置	全10中学校に、合計686枚の網戸を設置した。 (本丸137枚、第一76枚、猿橋73枚、東92枚、川東68枚、七葉63枚、佐々木32枚、豊浦51枚、紫雲寺26枚、加治川68枚)	2	網戸の設置により、空気の循環を良くし、感染予防に努めた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 交付対象事業の実施状況及び評価

<新基準>当初の事業目的等に対し、
 3：想定を上回る効果が出た
 2：想定どおり達成した
 1：想定を下回る効果しか出なかった

1,816,607 32,376 242,391 1,541,840 1,437,818

(単位：千円)

予算措置	課等名	事務事業名称	対象事業費	国県補助	その他特財	一般財源	(別掲) コロナ交付金 充当額	事業区分	事業概要	実施状況	効果	評価・分析・課題
7月補正	教育総務課	中学校施設整備事業	22,584			22,584	21,045	① 感染症対策	生徒及び教職員等の感染予防のための施設衛生環境改善工事に要する経費。	レバーハンドルへの取替を全10中学校の、合計666カ所に対して行った。 (本丸121、第一37、猿橋79、東101、川東36、七葉79、佐々木32、豊浦83、紫雲寺67、加治川31) トイレの洋式化を4校の中学校の、合計42カ所に対して行った。 (本丸12カ所、第一18カ所、東8カ所、豊浦4カ所)	2	感染予防対策として、レバーハンドルへの取替により蛇口への接触を減らし、また、トイレの洋式化により流した水の飛散防止を図った。
10月補正	教育総務課	中学校施設整備事業	24,145			24,145	22,500	① 感染症対策	生徒及び教職員等の感染予防のため、市内10中学校の特別教室1教室に1台ずつエアコンを設置する。	中学校10校の特別教室へのエアコンを設置するための設計及び工事を実施した。 設置箇所：本丸：音楽室1台、第一：音楽室1台、猿橋：音楽室1台、東：音楽室1台、川東：音楽室1台、七葉：音楽室1台、佐々木：理科室1台、豊浦：音楽室1台、紫雲寺：音楽室1台、加治川：音楽室1台 (合計10部屋に10台設置)	2	特別教室にエアコンを設置し、分散して授業を実施できるようにして感染予防対策を実施した。
当初予算 (既決予算)	教育総務課	中学校施設整備事業	2,414		1,800	614	573	① 感染症対策	生徒及び教職員等の感染予防のためのトイレ洋式化及びエアコン取替。	トイレの洋式化を2校の中学校の、合計4カ所に対して行った。 (東2カ所、豊浦2カ所) エアコンの取替を第一中学校の1カ所、1台に対して行った。	2	感染予防対策として、トイレの洋式化により流した水の飛散を防止し、エアコンを設置することにより換気による温度変化の軽減を図った。
7月補正	こども課	幼稚園管理運営事業	60			60	56	① 感染症対策	遠足の際のバス車内の密集対策として、保護者会等へのバス増便に係る経費の補助。	公立幼稚園1園の親子バス遠足について、バスの借上台数を増やすなどにより生じる費用への経費の補助を行った。	2	遠足の際のバス車内の密集状況を緩和することに寄与したことから、感染拡大防止に一定の効果があったと考える。
当初予算 (既決予算)	こども課	幼稚園管理運営事業	2			2	1	① 感染症対策	保護者との連絡手段の確保対策として、保護者連絡配信システム構築に要する費用。	公立幼稚園2園に園から保護者へのメール連絡サービスを導入した。 ・設定費68千円 ・システム利用料6千円	2	保護者への連絡手段として、電子媒体により行う体制を整備したことで、従来の紙媒体のやり取りの際に生じていた、職員・保護者間の接触の機会を減少させたことから、一定の効果があったと考える。
7月補正	こども課	幼稚園維持管理事業	387			387	361	① 感染症対策	園児の感染症予防のため、公立幼稚園の水道水栓のレバー化に要する経費。	2園分、88か所の水栓ハンドルを、旧来のバルブ式から、レバー式に改修完了した。	2	非接触式の水栓に交換することが最善であったが、費用が極めて高額のため、また児童の生活経験の幅を狭めないため、レバー式への交換を行った。従来のバルブ式よりも接触時間は短く、接触面積も小さく、清掃・消毒作業も容易となったことから、一定の効果があったと考える。
当初予算 (既決予算)	建築課	社会教育施設維持管理事業 (市民文化会館修繕分)	335	168		167	157	① 感染症対策	施設利用者の感染症対策のための空調機修繕に要する経費。	市民文化会館全館空調機が長年の使用に伴い換気能力が低下していることから、空調機の修繕を実施した。	2	換気能力が改善されたことで感染症対策が講じられ、利用者の安心につながった。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 交付対象事業の実施状況及び評価

<新基準>当初の事業目的等に対し、
 3：想定を上回る効果が出た
 2：想定どおり達成した
 1：想定を下回る効果しか出なかった

1,816,607 32,376 242,391 1,541,840 1,437,818

(単位：千円)

予算措置	課等名	事務事業名称	対象事業費	国県補助	その他特財	一般財源	(別掲) コロナ交付金 充当額	事業区分	事業概要	実施状況	効果	評価・分析・課題
当初予算 (既決予算)	生涯学習課	職員給与費 (時間外勤務手当)	8			8	7	① 感染症対策	感染症に関する情報提供等を行うコールセンターの運営に伴う時間外勤務のための経費。	新型コロナウイルス感染症コールセンターでの従事。	2	新型コロナウイルス感染症に関する市民等への最新の情報提供と不安解消を図ることができた。
当初予算 (既決予算)	生涯学習課	青少年宿泊施設管理運営事業	45			45	42	① 感染症対策	利用者の感染症予防のため、消毒液等感染症対策用品を施設に設置するために要する経費。	感染症予防のため消毒液のほか非接触体温計などの感染症対策用品を購入した。	2	基本的な感染症対策を行い、来館者が安心して利用できる施設運営を行うことができた。
当初予算 (既決予算)	文化行政課	市民文化会館施設維持管理事業	1,375	687		688	641	① 感染症対策	施設利用者の感染症予防のため、空調設備の保守にかかる経費。	感染症対策として、換気能力の維持のために保守点検を実施した。	2	大ホールやロビーの空調の保守点検を行い、施設の環境整備を実施したことで、安全に事業を実施できた。
7月補正	文化行政課	市民文化会館教育鑑賞事業	641			641	597	① 感染症対策	施設利用者の感染症予防のため、感染症予防対策備品を設置するための経費。	感染症予防対策に関する下記備品の購入。 ・ベルトパーテーション 25台 ・除湿器 3台 ・トランシーバー 6台	2	事業の実施にあたり、来場者の混雑状況等を把握し密を回避し来場者の安心安全を確保し、感染症対策を実施した。
7月補正	文化行政課	市民文化会館教育鑑賞事業	824	412		412	384	① 感染症対策	施設利用者の感染症予防のため、感染症予防対策備品を設置するための経費。	感染症予防用品として、マスク、アルコール消毒液、手袋を購入。感染症予防対策備品として、AIサーマルカメラ、タブレット型サーマルカメラ、非接触型体温計を購入した。	2	事業実施にあたり、検温の徹底や手指の消毒、イスやドアなど施設の消毒を行い、感染症対策を徹底し、来場者に安心安全を提供し、スタッフも安心して事業を実施できた。
当初予算 (既決予算)	文化行政課	市民文化会館施設改修事業	9,196	4,598		4,598	4,285	① 感染症対策	施設利用者の感染症予防のための、施設改修に要する経費。	施設(大ホール、ロビーなど)の空調の設備備品の交換、クーリングタワーの交換工事を実施した。	2	施設(大ホール、ロビーなど)の空調の設備備品等を交換したことで、施設の環境整備を実施し、安全に事業を実施できた。
当初予算 (既決予算)	文化行政課	市民文化会館施設改修事業	4,873			4,873	4,541	① 感染症対策	施設利用者の感染症予防のための、施設改修に要する経費。	洗浄機付き洋式便器の設置(7か所)、小便器自動フラッシュバルブ設置(23か所)、洋式化に伴う間仕切りドアの改造(6か所)を実施した。	2	施設の環境整備による感染症対策を行い、来場者に安心・安全を提供した。
当初予算 (既決予算)	生涯学習課 (加治川地区公民館)	職員給与費 (時間外勤務手当)	19			19	18	① 感染症対策	感染症拡大防止に伴う施設休館に際して、利用予定者への対応を行うための時間外勤務に要する経費。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための施設休館対応、使用料還付事務に係る時間外勤務。	2	施設の休館に係る対応を迅速に行い、コロナ禍でも、利用予定者が混乱することのないように、施設運営を行うことができた。
当初予算 (既決予算)	生涯学習課	豊浦地区公民館維持管理事業	30			30	28	① 感染症対策	利用者の感染症予防のため、消毒液等感染症対策用品を施設に設置するために要する経費。	感染症予防のため消毒液などの感染症対策用品を購入した。	2	基本的な感染症対策を行い、来館者が安心して利用できる施設運営を行うことができた。
当初予算 (既決予算)	生涯学習課	紫雲寺地区公民館・分館維持管理事業	40			40	37	① 感染症対策	利用者の感染症予防のため、消毒液等感染症対策用品を施設に設置するために要する経費。	感染症予防のため消毒液のほか除菌クリーナーなどの感染症対策用品を購入した。	2	基本的な感染症対策を行い、来館者が安心して利用できる施設運営を行うことができた。
当初予算 (既決予算)	生涯学習課	加治川地区公民館・分館維持管理事業	40			40	37	① 感染症対策	利用者の感染症予防のため、消毒液等感染症対策用品を施設に設置するために要する経費。	感染症予防のため消毒液のほか除菌スプレーなどの感染症対策用品を購入した。	2	基本的な感染症対策を行い、来館者が安心して利用できる施設運営を行うことができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 交付対象事業の実施状況及び評価

<新基準>当初の事業目的等に対し、
 3：想定を上回る効果が出た
 2：想定どおり達成した
 1：想定を下回る効果しか出なかった

1,816,607 32,376 242,391 1,541,840 1,437,818

(単位：千円)

予算措置	課等名	事務事業名称	対象事業費	国県補助	その他特財	一般財源	(別掲) コロナ交付金 充当額	事業区分	事業概要	実施状況	効果	評価・分析・課題
9月補正	生涯学習課	成人式開催事業	701			701	653	④ その他	新成人への祝意を示すため、中止となった令和2年成人式の参加予定者に記念DVDを送付するとともに、成人式で着用する予定であった貸衣装のキャンセル料の負担軽減を図るため一部を助成する経費。	成人式参加予定者等1,100人に対して記念DVDを送付するとともに、貸衣装キャンセル代の女性を2人に対して行った。	2	成人式への参加を心待ちにしていた新成人に対し、コロナ禍の中でも市としてできる限りの祝意を示すことで、大人としての自覚を促す契機とすることができた。
当初予算 (既決予算)	生涯学習課	生涯学習センター施設維持管理事業	93			93	87	① 感染症対策	利用者の感染症予防のため、消毒液等感染症対策用品を施設に設置するために要する経費。	感染症予防のため消毒液のほか清掃用アルコールなどの感染症対策用品を購入した。	2	基本的な感染症対策を行い、来館者が安心して利用できる施設運営を行うことができた。
当初予算 (既決予算)	中央図書館	中央図書館事業	189			189	177	① 感染症対策	利用者の感染予防のため、飛沫防止のためのアクリル板を設置するための経費。	各フロアーのサービスデスクにアクリル板を設置し、利用者、職員双方の飛沫による感染防止のため役立てている。 ・サービスデスク用アクリル板 7セット	2	アクリル板があることで、利用者からは安心して図書館を利用できるとの声をいただいている。感染防止に必要な物品である。
当初予算 (既決予算)	スポーツ推進課	学校体育施設開放事業	155			155	145	① 感染症対策	学校体育施設を一般開放するにあたり、感染症対策として市内開放校に消毒用アルコール液を設置する。	体育施設を開放している市内開放校に消毒用アルコール液を設置し、使用器具等の消毒を行った。 【購入品】 ・消毒用アルコール消毒液 408ℓ	2	感染症対策を行いながら、学校教育に影響のないよう安心・安全に学校体育施設を開放することができた。 また、学校体育施設使用における感染防止対策が強化された。
当初予算 (既決予算)	スポーツ推進課	学校体育施設開放事業	100			100	93	① 感染症対策	学校体育施設を一般開放するにあたり、感染症対策として市内開放校に消毒用アルコール液を設置する。	体育施設を開放している市内開放校に消毒用アルコール液を設置し、使用器具等の消毒を行った。 【購入品】 ・消毒用アルコール消毒液 330ℓ	2	感染症対策を行いながら、学校教育に影響のないよう安心・安全に学校体育施設を開放することができた。 また、学校体育施設使用における感染防止対策が強化された。
7月補正	スポーツ推進課	スポーツ&カルチャーツーリズム推進事業	2,500			2,500	2,331	④ その他	コロナ禍の市民・県民を元気付け、また、市内事業者を支援することを目的に、本市出身で新発田市スポーツ大使を務める富樫勇樹選手が所属するプロバスケットボール千葉ジェッツのプレシーズンゲームを開催する。 観客収容を50%以下とする国のガイドラインを踏まえ、市民の観戦機会を確保するため、2日間開催としたことによる追加経費や、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために生じる経費に交付金を活用する。	・2日間開催に伴う追加経費 2,465,150円 (主な内容・・・選手・スタッフ等の食事・宿泊費、チーム出演料、協力団体謝礼など) ・会場内感染対策経費 35,356円	2	2日間合計1,700席が即日売空(入場実績も98%)し、市民・県民が求めるイベントを開催することができた。 イベント開催により、苦境に立つ市内宿泊・飲食関連業者を支援することができた。 各種メディアでも大きく取り上げられ、当市を広くPRすることができた。
当初予算 (既決予算)	スポーツ推進課	体育施設維持管理事業	1,053			1,053	981	① 感染症対策	スポーツ施設における新型コロナウイルス感染症防止対策(三密の回避、消毒作業の実施等)に活用する。	準備運動時等に密回避のためのワンタッチテント、消毒用のペーパータオル・使い捨て布、非接触型検温消毒器を購入した。 【購入品】 ・ワンタッチテント 4張 ・非接触型消毒器 4台 ・ペーパータオル 1,596パック (※1パックあたり200枚) ・使い捨て布 33箱 ほか	2	スポーツ施設における感染症対策の徹底を効果的に実施することができた。また、安心・安全な施設利用につなげることができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 交付対象事業の実施状況及び評価

<新基準>当初の事業目的等に対し、
 3：想定を上回る効果が出た
 2：想定どおり達成した
 1：想定を下回る効果しか出なかった

(単位：千円)

予算措置	課等名	事務事業名称	対象事業費	国県補助	その他特財	一般財源	(別掲)コロナ交付金充当額	事業区分	事業概要	実施状況	効果	評価・分析・課題
			1,816,607	32,376	242,391	1,541,840	1,437,818					
7月補正	スポーツ推進課	体育施設維持管理事業	385			385	359	① 感染症対策	スポーツ施設における新型コロナウイルス感染症防止対策(三密の回避、消毒作業の実施等)に活用する。	換気対策用に大型扇風機、消毒用にペーパータオル・使い捨て布を購入した。 【購入品】 ・換気用扇風機、延長コード 各18組 ・ペーパータオル 16箱(1,482枚) ・使い捨て布 10箱 ほか	2	スポーツ施設における感染症対策の徹底を効果的に実施することができた。また、安心・安全な施設利用につなげることができた。
7月補正	教育総務課	学校給食管理運営事業	7,177			7,177	6,687	④ その他	学校の臨時休校に伴い、発注済であった給食食材費にかかる事業者への補償に要する経費。	・対象業者数：7社	2	長期の休校、給食停止となったため、取引業者に甚大な影響があったが、補償対応により経営維持の一助となり、学校再開後の給食安定供給に繋がった。
6月補正	教育総務課	学校給食管理運営事業	5,200		3,486	1,714	1,597	④ その他	臨時休業に伴う食材のキャンセル費等に要する経費及び学校給食再開に向けた衛生管理改善に要する経費。	・対象業者数：10社	2	長期の休校、給食停止となったため、取引業者に甚大な影響があったが、補償対応により経営維持の一助となり、学校再開後の給食安定供給に繋がった。
7月補正	教育総務課	学校給食調理場施設整備事業	2,211			2,211	2,060	① 感染症対策	夏休み期間短縮により、真夏時での調理業務対応が必要になったことに伴う施設衛生環境改善工事、備品導入に要する経費。	夏休み期間短縮に備え、調理場内暑さ対策として北調理場排気設備設置、全調理場にスポットクーラー(全15台)の配備を行った。	2	夏休み期間短縮により、真夏時での調理業務対応となったが、暑さ対策により重度の体調不良者が発生することなく対応できた。
合計			1,816,607	32,376	242,391	1,541,840	1,437,818					